



2023年3月期 決算説明会資料

2023年5月31日

証券コード：4022

目 次

- 1. 事業概要**
- 2. 2023年3月期実績及び2024年3月期見通し**
- 3. 中期経営計画の進捗状況**

1. 事業概要

事業概要

会社概要

商号	ラサ工業株式会社
本社	東京都千代田区外神田一丁目18番13号
創業	1913（大正2）年 5月 1日
設立	1918（大正7）年 6月 26日
従業員数	610名（連結）

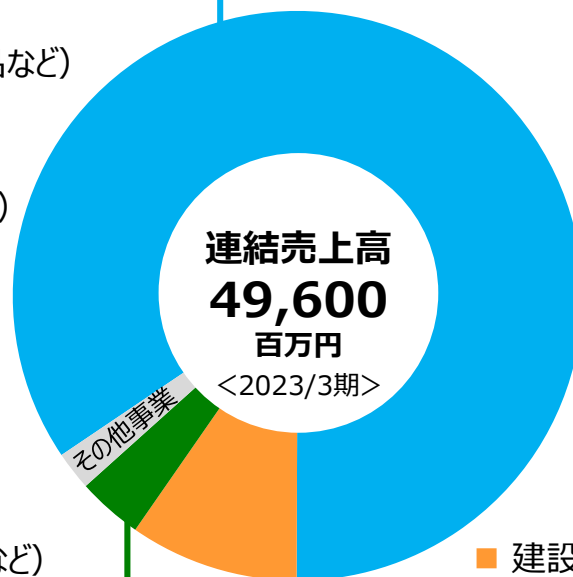
<2023年3月31日現在>

化成品事業 41,918百万円／84.5%

- リン系製品
リン酸（一般品、電子工業向け高純度品など）
リン酸塩など
- 凝集剤（水処理用など）
- その他（コンデンサー向け原料、消臭剤など）

- 化合物半導体向け高純度無機素材
（ガリウム、インジウム、赤リン、酸化ホウ素など）
- 放射性ヨウ素吸着剤

電子材料事業 1,830百万円／3.7%



- 建設機械（破碎機、選別機、粉体機器）
- 土木機械（掘進機（上下水道向け））

機械事業 4,739百万円／9.6%



<半導体向け高純度リン酸の製造体制>

2. 2023年3月期実績及び2024年3月期見通し

2023年3月期 決算概要

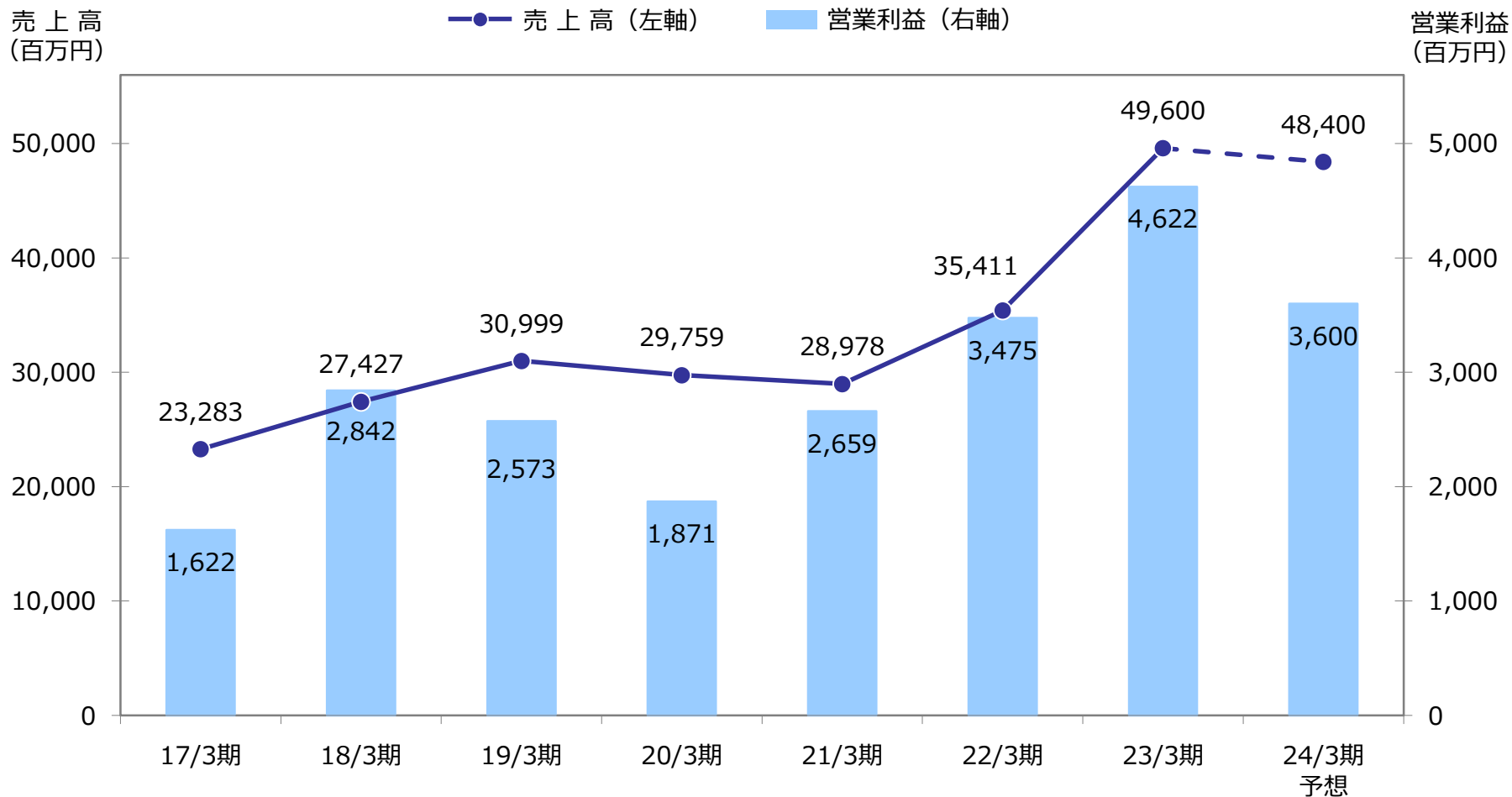
- 売上高は、化成品事業における半導体向け高純度品が伸長。また、原料の高騰に対する製品販売価格の是正もあり増収。
- 営業利益は、化成品事業の伸長により、大幅な増益。過去最高益を2期連続で更新。

(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期	増減	前年同期比	業績予想	増減
売上高	35,411	49,600	14,189	40.1%	52,600	△ 3,000
営業利益	3,475	4,622	1,147	33.0%	4,500	122
経常利益	3,562	4,690	1,128	31.7%	4,600	90
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,538	3,232	694	27.3%	3,200	32
1株配当金	70.00円	82.00円	12.00円	17.1%	70.00円	12.00円
(減価償却費)	1,525	1,845	320	21.0%		

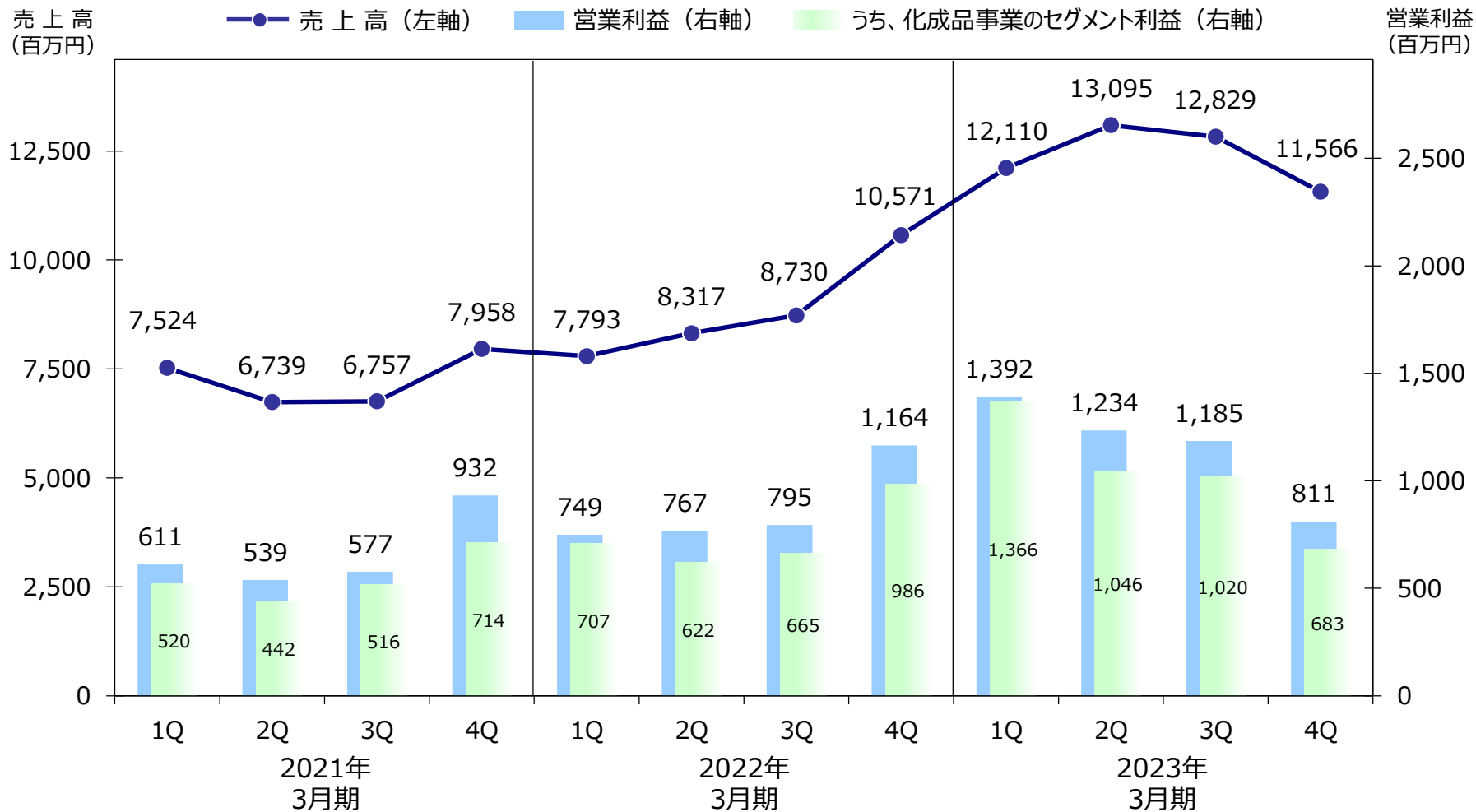
年度業績の推移

売上高と営業利益の推移



四半期業績の推移

四半期売上高と営業利益の推移



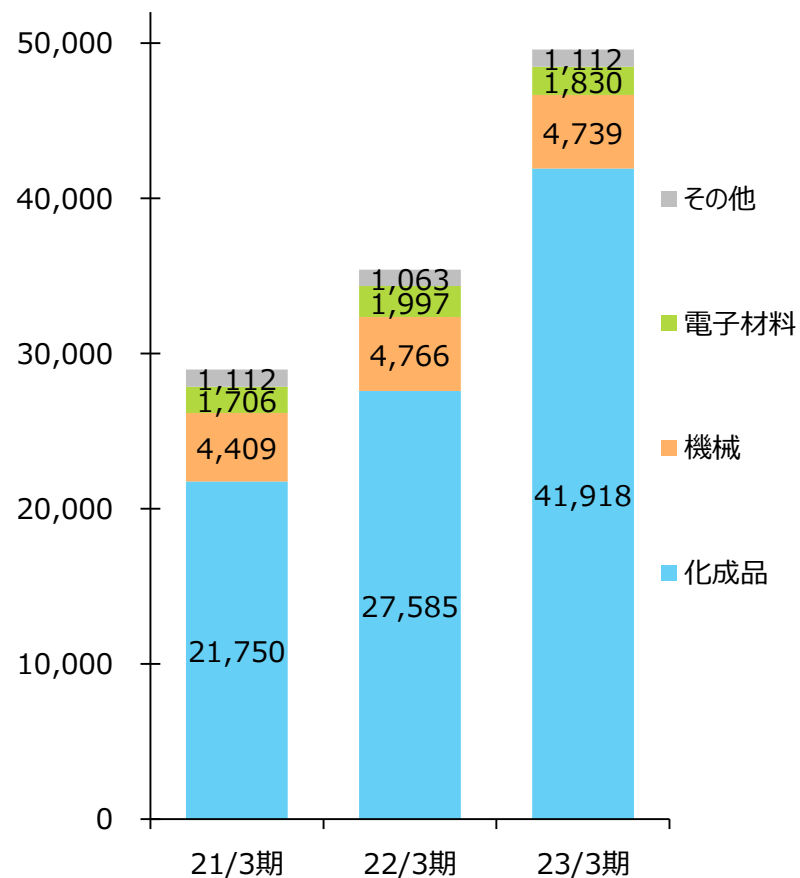
2023年3月期 セグメント別概要（売上高）

売上高の推移

（単位：百万円）

（百万円）

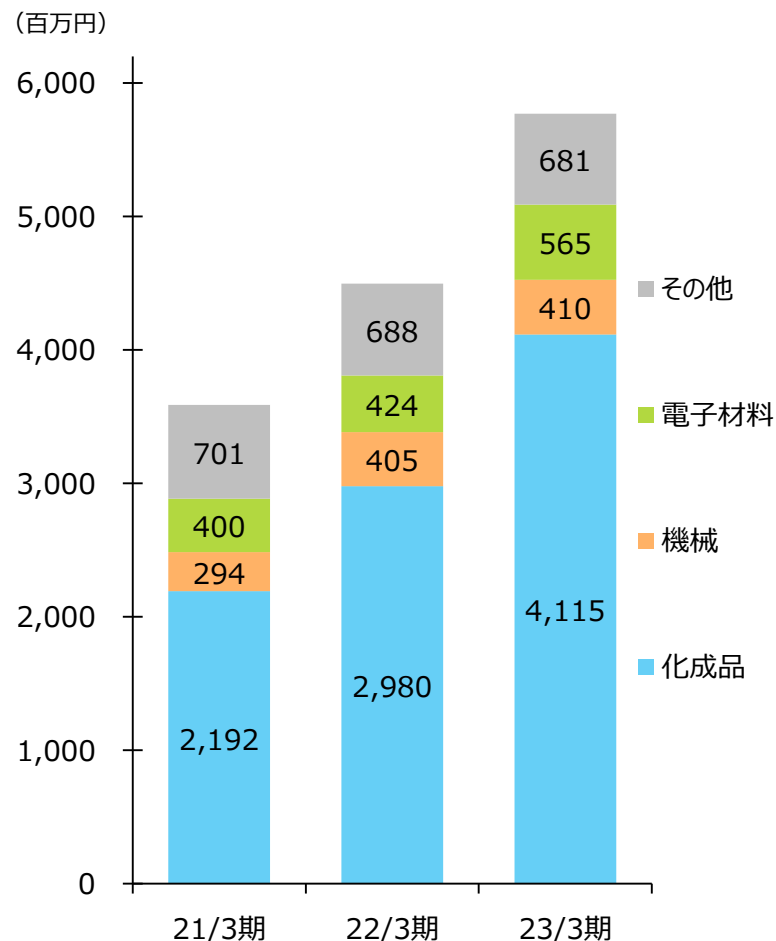
	2022/3期	2023/3期	増減	前年 同期比
化 成 品	27,585	41,918	14,333	52.0%
機 械	4,766	4,739	△ 27	△ 0.6%
電 子 材 料	1,997	1,830	△ 167	△ 8.3%
そ の 他	1,063	1,112	49	4.5%
合 計	35,411	49,600	14,189	40.1%



2023年3月期 セグメント別概要（利益）

セグメント利益の推移

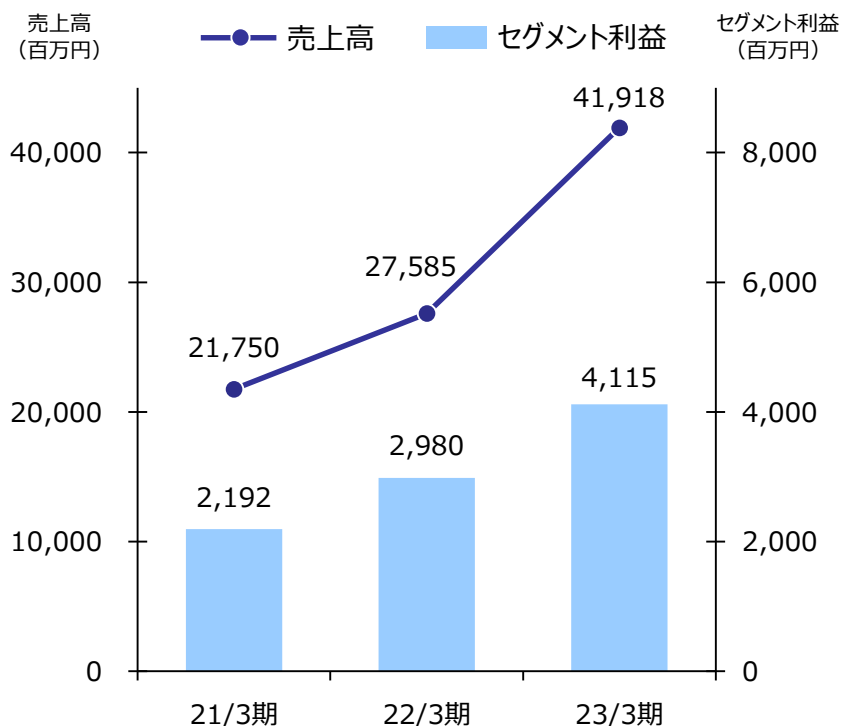
	2022/3期	2023/3期	増減	前年 同期比
化 成 品	2,980	4,115	1,135	38.0%
機 械	405	410	5	1.2%
電 子 材 料	424	565	141	33.1%
そ の 他	688	681	△ 7	△ 1.1%
（調整額）	△ 1,024	△ 1,149	△ 125	—
合 計	3,475	4,622	1,147	33.0%



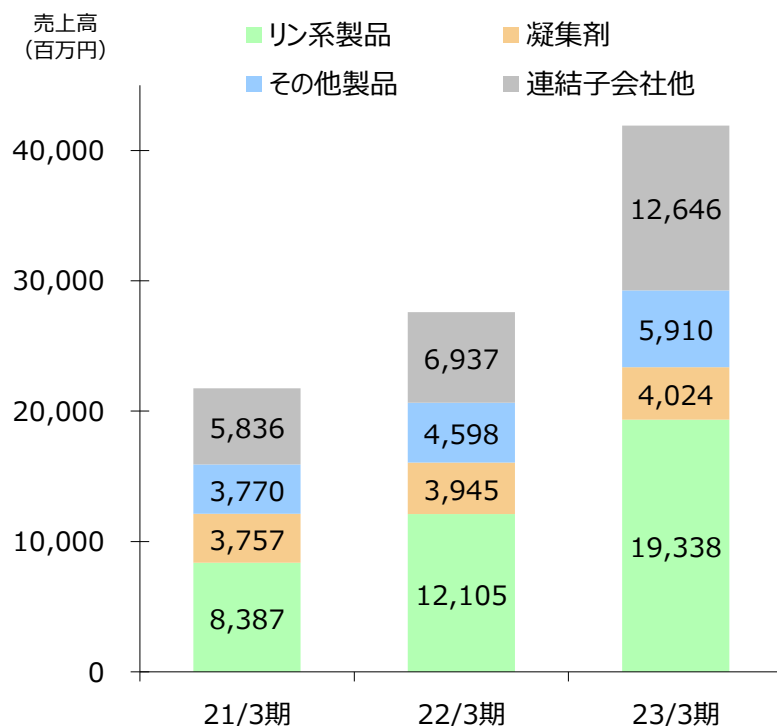
化成品事業

- リン系製品は、半導体向け高純度品が、期末に向けて半導体市場の減速を受けて伸び悩むが概ね堅調に推移。前期比では、原料黄燐の高騰に対する製品販売価格の是正もあり大幅な増収。
- 凝集剤は、エッチング用途向けが堅調に推移し増収。
- その他製品は、コンデンサー向け原料が、原料高騰による製品価格改定により増収。

【化成品事業】 売上高とセグメント利益の推移

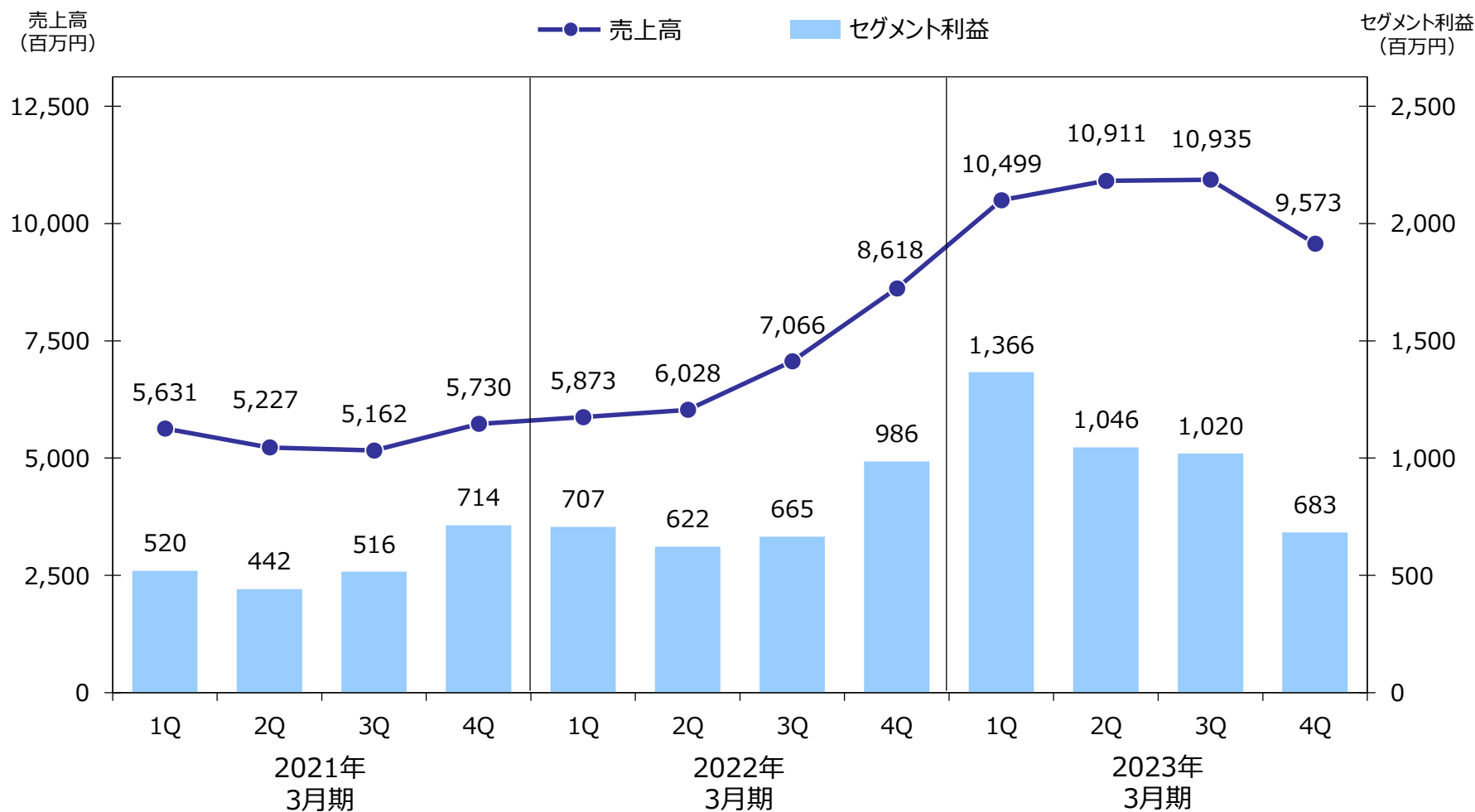


【化成品事業】 製品別売上高の推移



化成品事業（四半期業績）

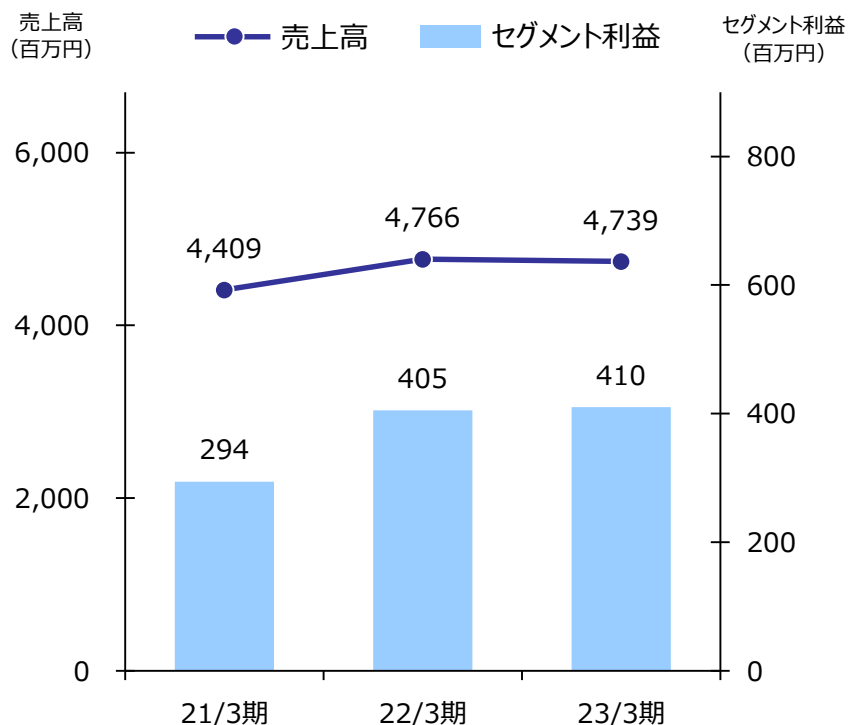
【化成品事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



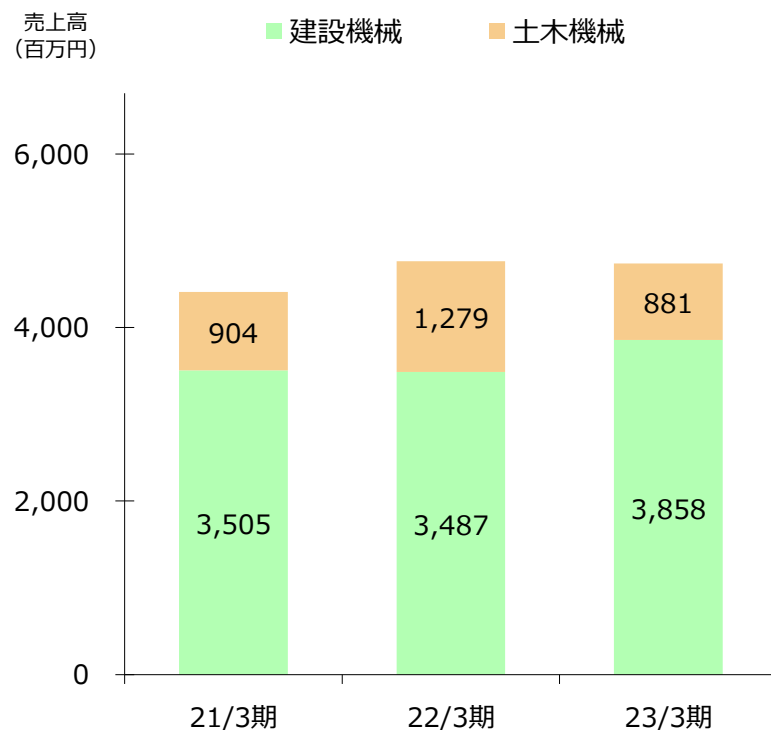
機械事業

- 建設機械は、本体販売やリサイクル向けプラントの販売が伸長。精密機械加工は半導体向けを中心に堅調に推移。
- 土木機械は、国内外向けの本体販売やレンタルが大幅な減収。

【機械事業】 売上高とセグメント利益の推移

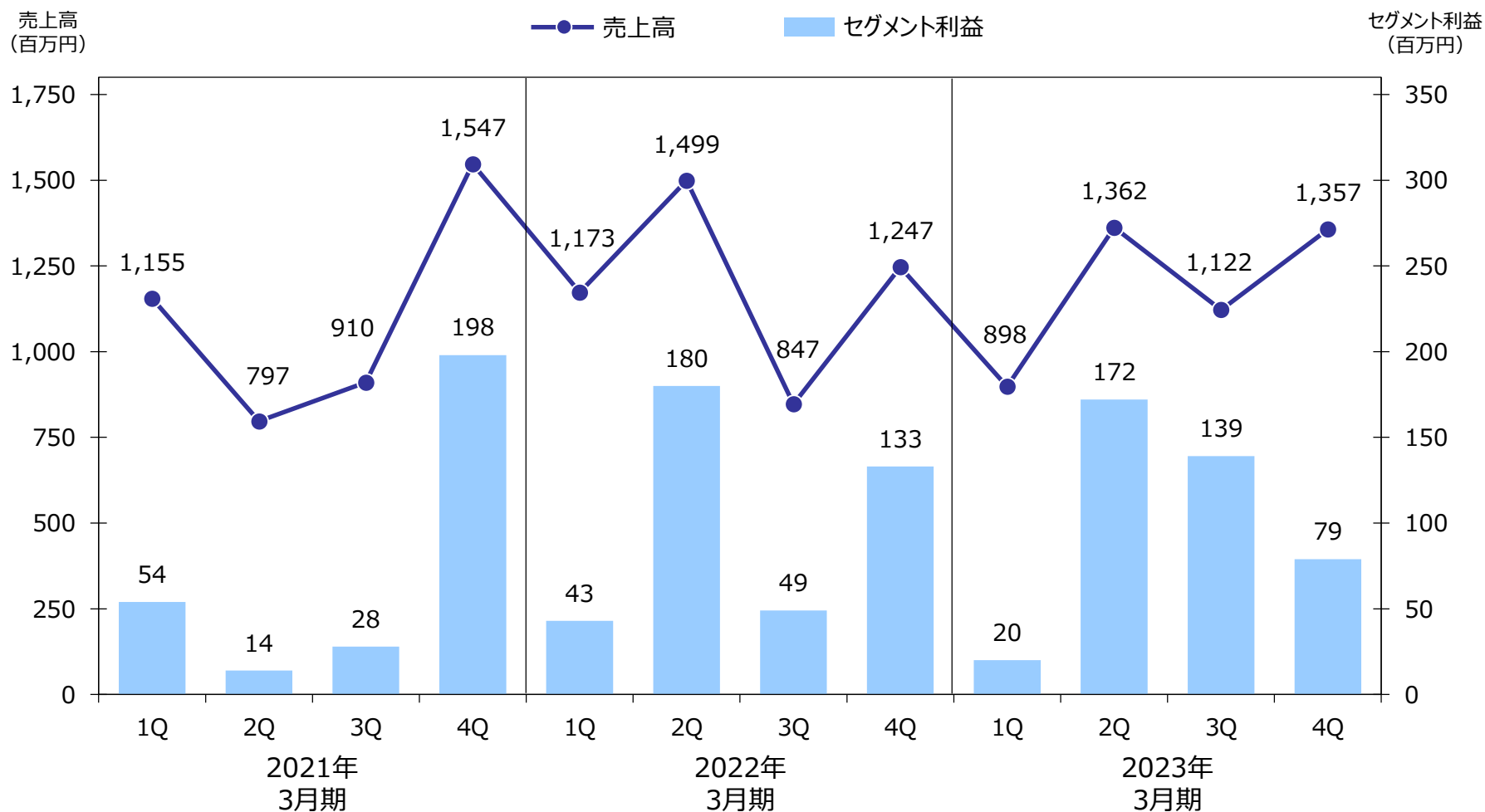


【機械事業】 製品別売上高の推移



機械事業（四半期業績）

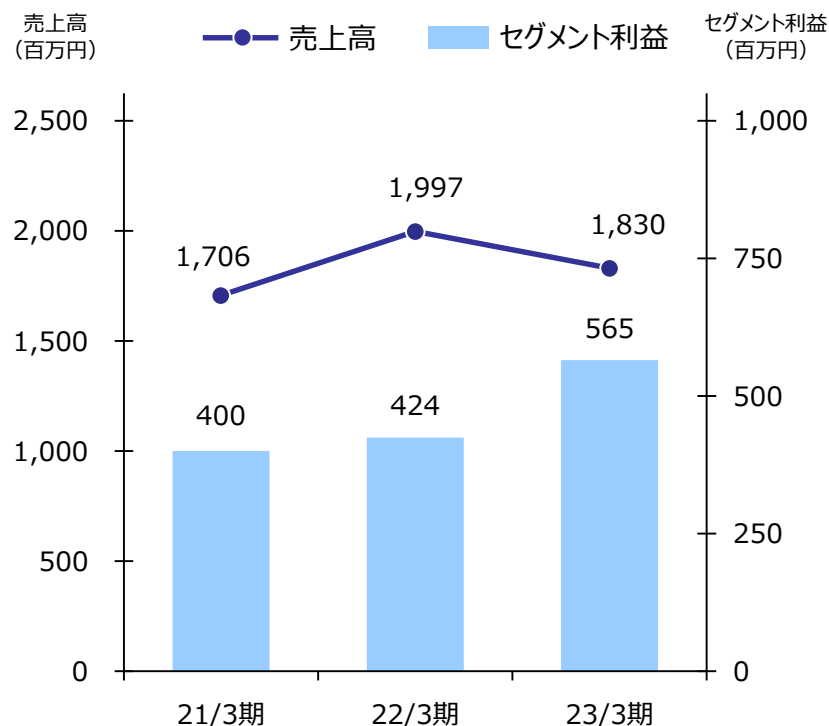
【機械事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



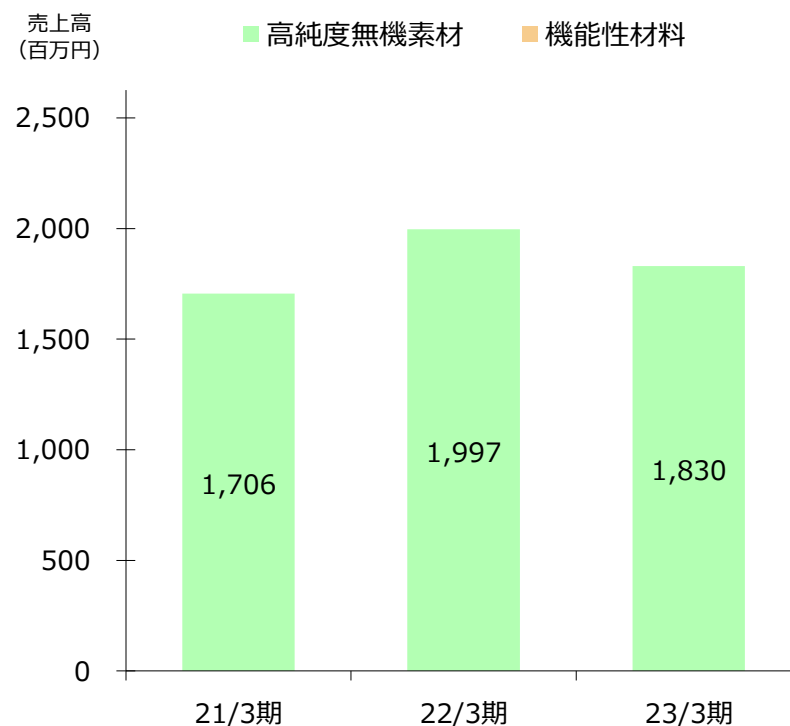
電子材料事業

- 化合物半導体向け高純度無機素材は、需給の緩和や赤燐事故の影響により減収。
(2022年6月16日生産開始済み)

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の推移

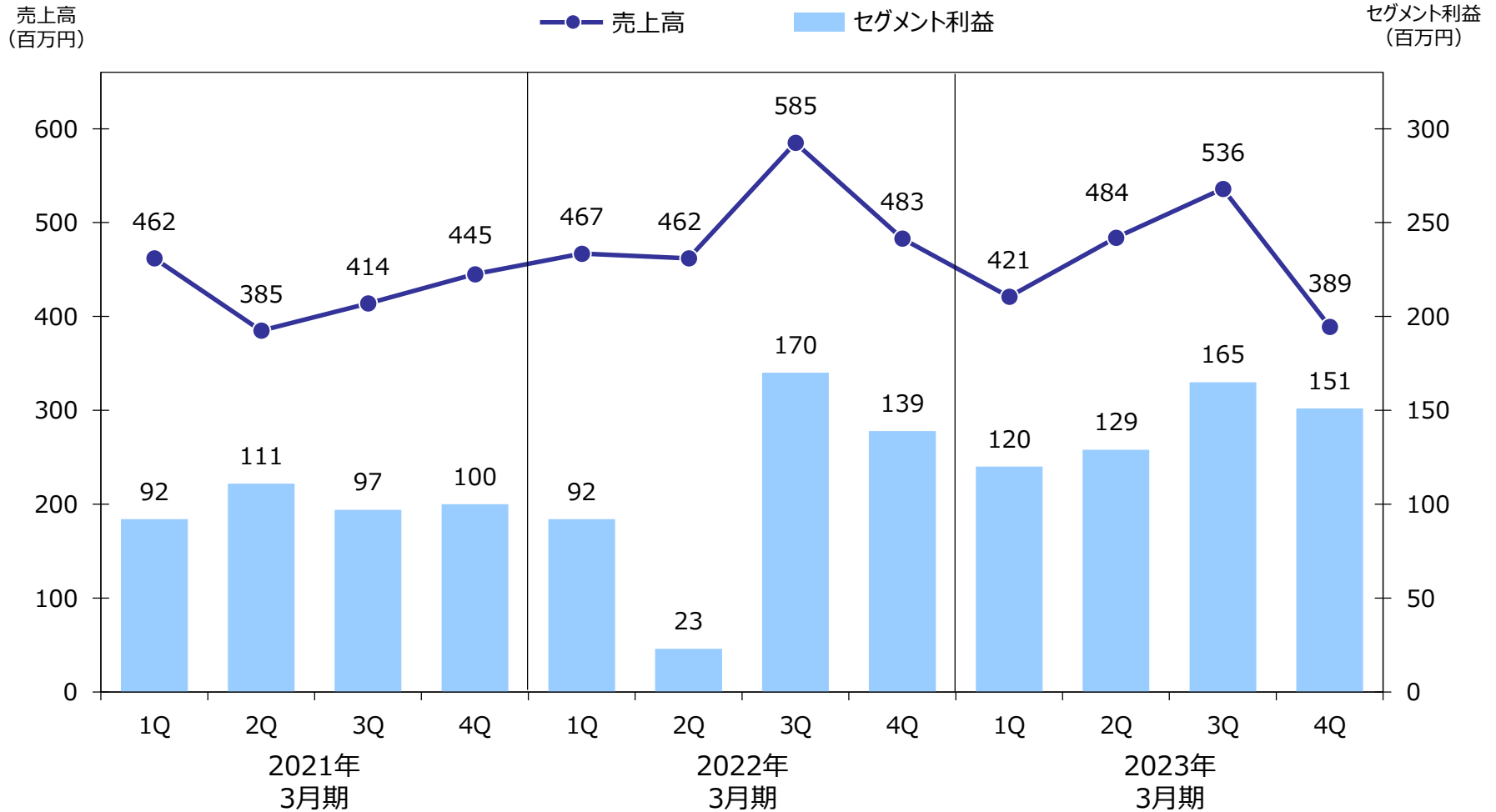


【電子材料事業】 製品別売上高の推移



電子材料事業（四半期業績）

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	2022/3期	2023/3期	増減	前年同期比
売上高	35,411	49,600	14,189	40.1%
売上原価	27,362	40,186	12,824	46.9%
販売費・一般管理費	4,573	4,791	218	4.8%
営業利益	3,475	4,622	1,147	33.0%
営業外収益	490	514	24	4.9%
営業外費用	403	446	43	10.7%
経常利益	3,562	4,690	1,128	31.7%
特別利益	116	5	△ 111	△ 95.7%
特別損失	159	66	△ 93	△ 58.5%
税金等調整前当期純利益	3,519	4,629	1,110	31.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,538	3,232	694	27.3%
（減価償却費）	1,525	1,845	320	21.0%

貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	2022/3月末	2023/3月末	増減
流動資産 計	19,584	25,564	5,980
現金及び預金	3,538	4,940	1,402
受取手形、売掛金、電子記録債権	10,377	11,302	925
たな卸資産 ※	5,337	8,364	3,027
固定資産 計	22,339	21,987	△ 352
有形固定資産	18,566	17,893	△ 673
無形固定資産	47	40	△ 7
投資その他の資産	3,725	4,053	328
流動負債 計	12,821	15,737	2,916
支払手形及び買掛金	4,264	5,524	1,259
短期借入金	5,806	7,147	1,340
固定負債 計	8,801	8,563	△ 238
長期借入金	5,337	5,021	△ 316
退職給付に係る負債	3,066	3,165	99
純資産	20,301	23,252	2,950
自己資本	20,206	23,125	2,919
非支配株主持分	95	126	31
総資産	41,924	47,552	5,628
＜自己資本比率＞	48.2%	48.6%	0.4%

※ たな卸資産＝商品及び製品＋仕掛品＋原材料及び貯蔵品

キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）

	2022/3期	2023/3期	増減
営業キャッシュ・フロー	1,996	2,042	46
税金等調整前当期純利益	3,519	4,629	1,110
減価償却費	1,525	1,845	320
売上債権の増減額（△は増加）	△ 1,700	△ 887	813
たな卸資産の増減額（△は増加）	△ 1,311	△ 3,016	△ 1,704
仕入債務の増減額（△は減少）	753	1,254	501
法人税等の支払額	△ 763	△ 1,203	△ 440
投資キャッシュ・フロー	△ 2,322	△ 961	1,360
有形固定資産の取得による支出	△ 2,430	△ 919	1,510
財務キャッシュ・フロー	308	245	△ 62
借入金の純増減額	701	896	195
現金及び現金同等物 期中増減額	130	1,402	1,272
現金及び現金同等物 期末残高	3,538	4,940	1,402

2024年3月期の業績予想

- 化成品事業は、電子部品関連市場の調整局面が上期中は続くと想定、下期より徐々に回復を見込むが、通期では大幅な減収減益を見込む。
- 機械事業は、下水道関連の掘進機が海外向け販売の回復、破碎関連機械がプラント工事の販売増により、増収増益を見込む。
- 電子材料事業は、ガリウムなどはユーザーの在庫調整の影響が想定されるが、高純度赤燐は爆発事故の生産停止影響が無くなることから増収、利益は小幅な減益を見込む。

(単位：百万円)

	2023/3期	2024/3期予想	増減	前年同期比
売上高	49,600	48,400	△ 1,200	△ 2.4%
化成品事業	41,918	39,000	△ 2,918	△ 7.0%
機械事業	4,739	6,200	1,461	30.8%
電子材料事業	1,830	2,050	220	12.0%
その他の事業	1,112	1,150	38	3.4%
営業利益	4,622	3,600	△ 1,022	△ 22.1%
化成品事業	4,115	3,100	△ 1,015	△ 24.7%
機械事業	410	550	140	34.1%
電子材料事業	565	500	△ 65	△ 11.5%
その他の事業	681	700	19	2.8%
全社費用など	△ 1,149	△ 1,250	△ 101	—
経常利益	4,690	3,600	△ 1,090	△ 23.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,232	2,600	△ 632	△ 19.6%
1株配当金	82.00円	82.00円	0円	0.0%

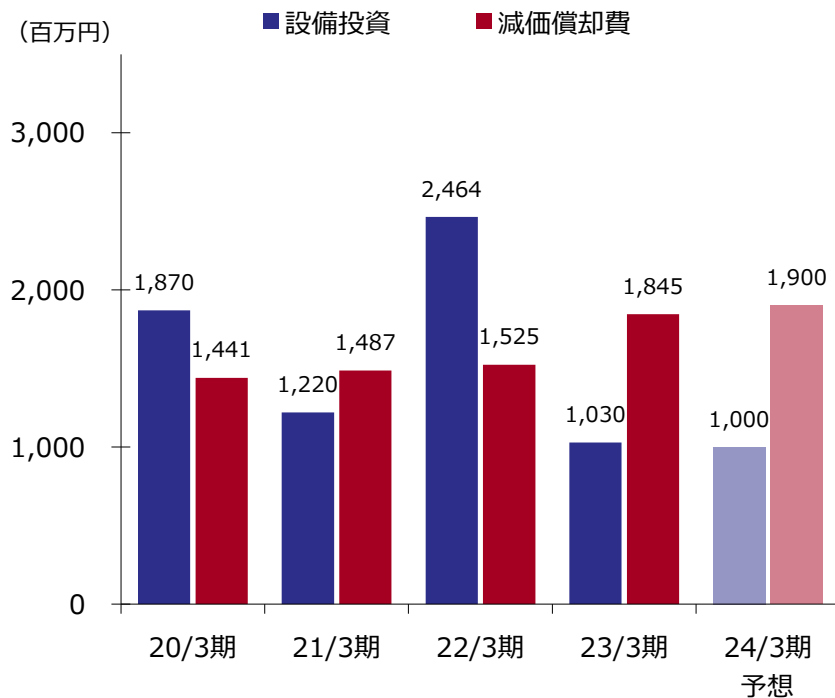
想定為替レート

130円/USD

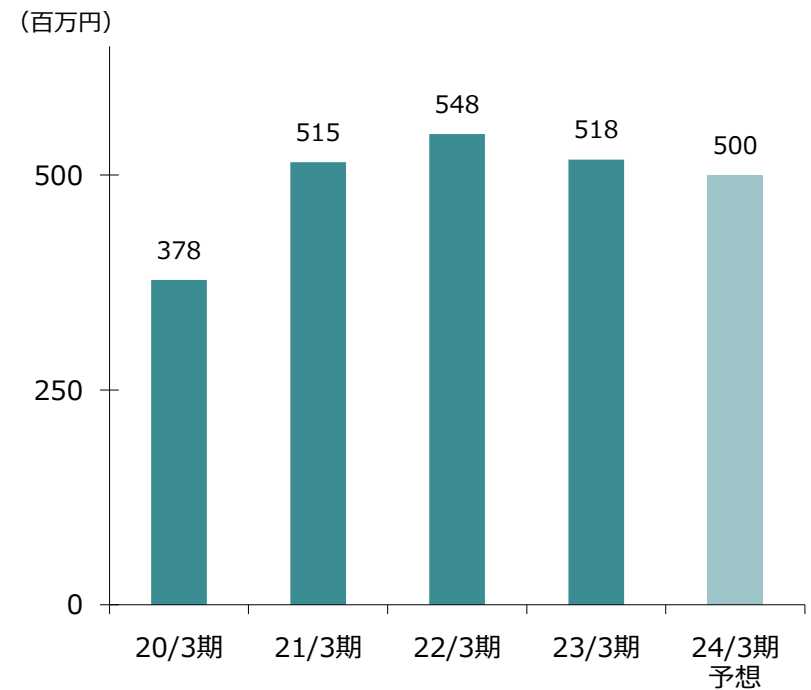
設備投資・減価償却費及び研究開発費の推移

- 設備投資は、半導体向け高純度燐酸の増産対応が一巡し、2023年3月期および2024年3月期は、維持更新投資が中心。
- 研究開発費は、主に電子材料事業において、原子力の安全性・信頼性向上のための研究開発（当社製品：放射性ヨウ素吸着剤等の研究開発）を2021年3月期から継続。

設備投資・減価償却費



研究開発費



3. 中期経営計画の進捗状況

中期経営計画2023（2021～2023年度）の概要

中期経営計画2023

～「次世代への変化に対応した事業戦略の推進と
将来に向けた事業基盤の更なる強化」を目指す～

目 標

1. 連結営業利益 33億円
2. 連結自己資本比率 55%
3. 業績に応じた配当の継続

事業戦略

- 既存事業の強化・領域拡大
- グローバル市場への対応強化
- 新規事業の探索・育成
- 財務体質の更なる強化

中期経営計画2023の事業戦略

【全社方針】

【施策】

既存事業の強化・領域拡大

- 5G・IoT・AI分野需要の着実な取り込み
- 既存事業の中長期ビジョンを踏まえた方針の明確化と実行
- 設備投資の着実な実行と投資回収
- 設備維持保全・安定供給力の向上

グローバル市場への対応強化

- サプライチェーンの分散化への機敏な対応
- 原料調達及びデリバリーの安定確保の強化
- ポストコロナ社会における海外営業スタイルの見直し

新規事業の探索・育成

- 製品開発と営業の連携強化
- ユーザー拡大と高付加価値化

基盤整備

管理体制

- ✓ DXへの取り組み
- ✓ 柔軟かつ機敏な組織体制づくり
- ✓ ESGへの取り組み

人材戦略

- ✓ 多様な人材の育成と採用力強化
- ✓ 変革に対応した人材の再配置・再教育

中期経営計画2023の数値目標 1/2

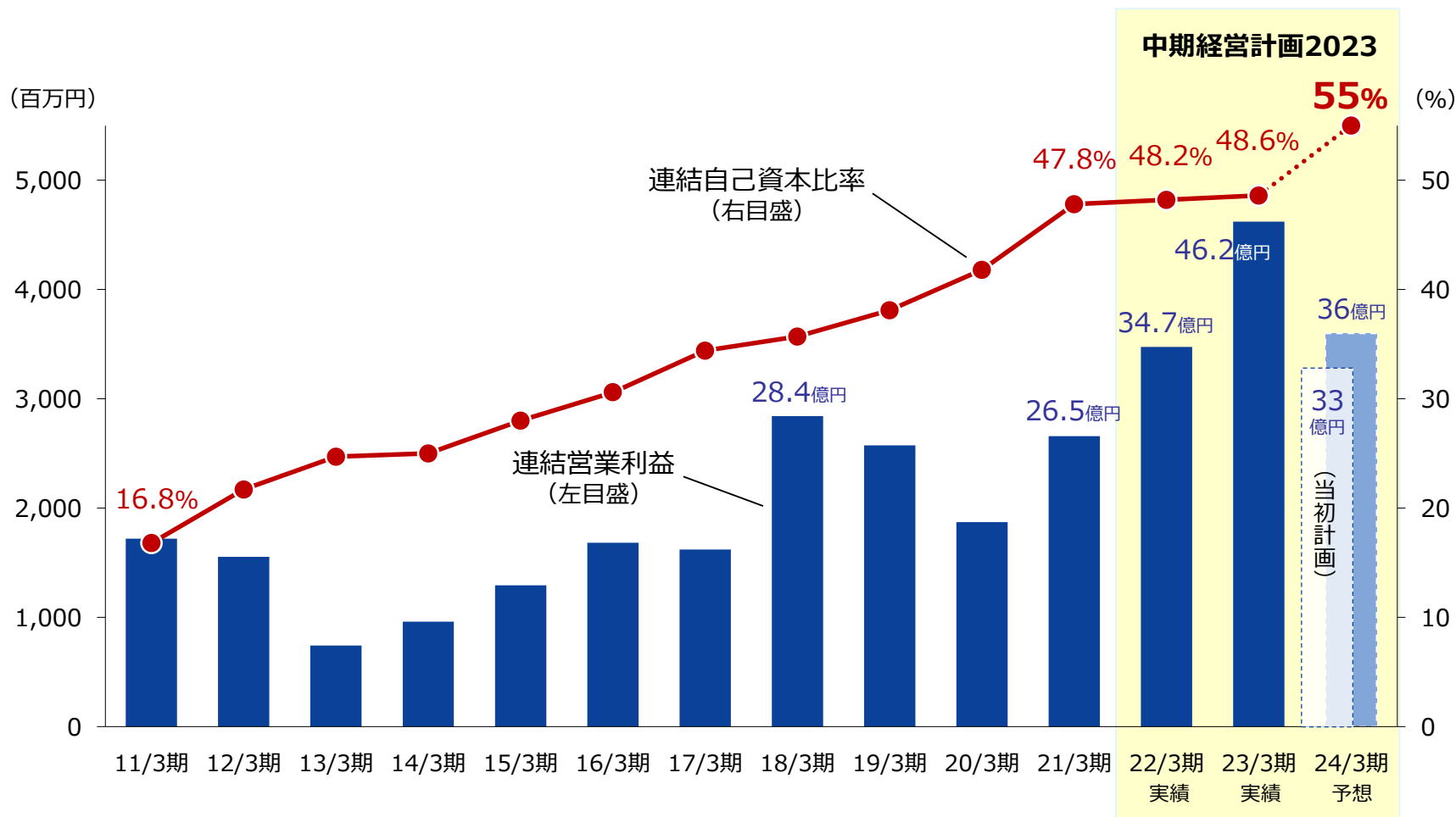
(単位：百万円)

	2024/3期 当初計画 ①	2022/3期 実績	2023/3期 実績	2024/3期 予想 ②	当初計画比増減 ②－①	増減率
売上高	36,000	35,411	49,600	48,400	12,400	34%
化成品事業	27,000	27,585	41,918	39,000	12,000	44%
機械事業	5,700	4,766	4,739	6,200	500	9%
電子材料事業	2,100	1,997	1,830	2,050	△ 50	△ 2%
その他の事業	1,200	1,063	1,112	1,150	△ 50	△ 4%
営業利益	3,300	3,475	4,622	3,600	300	9%
化成品事業	2,700	2,980	4,115	3,100	400	15%
機械事業	600	405	410	550	△ 50	△ 8%
電子材料事業	400	424	565	500	100	25%
その他の事業	700	688	681	700	0	0%
全社費用など	△ 1,100	△ 1,024	△ 1,149	△ 1,250	△ 150	14%
経常利益	3,400	3,562	4,690	3,600	200	6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,400	2,538	3,232	2,600	200	8%
自己資本比率	55.0%	48.2%	48.6%	55.0%	0.0%	

- 中期経営計画策定時（2021/3期）、新型コロナウイルス感染症の影響による経済見通しが不透明な状況。
- 1年目（2022/3期）実績は、最終年度（2024/3期）の計画を上回る実績を計上。
- 2年目（2023/3期）実績は、化成品事業における半導体向け高純度品が伸張。また、原料の高騰に対する製品販売価格の是正もあり大幅な増収増益。
- 最終年度（2024/3期）予想は、電子部品関連市場の調整局面が上期中は続くと想定、下期より徐々に回復を見込むが、前年比減収減益の予想。
- 当初計画を売上高は大幅に上回る予想で、営業利益も3億円（+9%）上回る予想。

中期経営計画2023の数値目標 2/2

収益力の向上を図るとともに財務体質の一層の強化を目指す



中期経営計画2年目（23/3期）の施策と総括

- ✓ 化成品事業では国内外共に半導体向け高純度品が伸長。また、原料の高騰に対する製品販売価格の是正もあり大幅な増収増益。
- ✓ 過去最高益を2期連続で達成。
- ✓ 23/3期後半、電子部品関連市場の調整局面の影響を受ける。

	化成品事業	機械事業	電子材料事業
施策	・半導体向け高純度リン酸の安定操業および販売増 ・台湾子会社 増産設備の安定操業と拡販への対応 ・新規事業の探索、育成	・中間貯蔵施設の更新需要、プラント設備案件の取り込み ・下水道向け掘進機の新規市場開拓 ・新規事業の探索、育成	・高純度無機素材－次世代通信需要の開拓 ・放射性ヨウ素吸着剤（AgX）の海外販売 ・新規事業の探索、育成
計画線	・国内外共に半導体向け高純度リン酸が好調、後半は市場減速で出荷減 ・原料の高騰に対する製品販売価格の是正	・リサイクル向けプラントの販売 ・精密機械加工が半導体向けに堅調	・高純度無機素材－化合物半導体向け、パワー半導体向けに堅調
やや遅れ	・コンデンサー向け原料増産設備は需要が伸びず、操業体制見直し ・消臭剤の様々な用途での製品開発	・新型コロナウイルス感染症の影響もあり海外市場開拓は進まず ・バイオマス熱利用装置の営業展開	・高純度無機素材の新規需要の開拓 ・放射性ヨウ素吸着剤（AgX）の海外へのアプローチ継続

重点施策①



<リン酸>

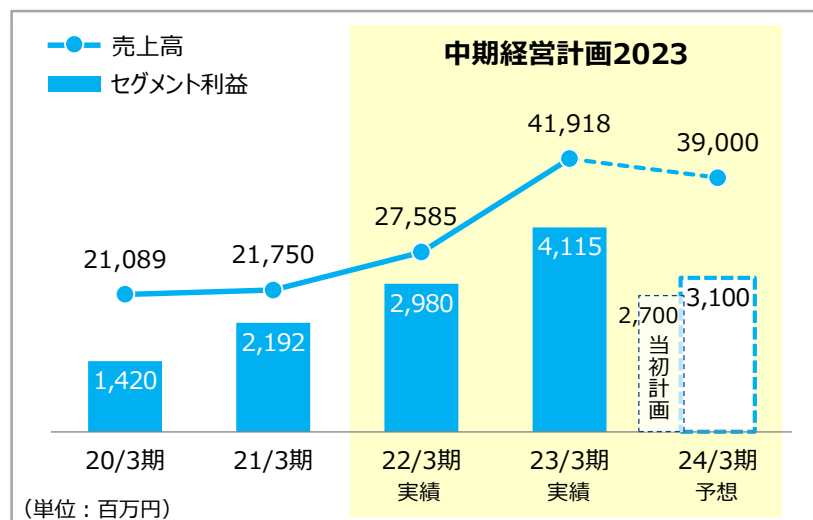


<消臭剤>



<台湾子会社>

化成品事業



■ 電子部品関連市場の着実な需要取り込み

- ✓ 半導体向け高純度リン酸 – 国内外における確実な供給体制の安定化
- ✓ コンデンサー向け原料増産設備の需要に応じた生産体制の整備と省力化

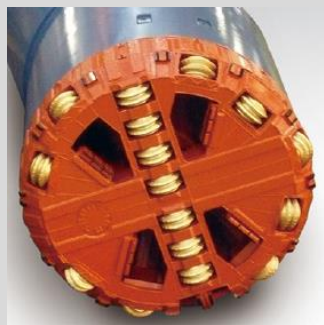
■ グローバル市場への対応強化

- ✓ 台湾子会社 市場動向を注視し、増産設備の安定操業とユーザー対応の強化
- ✓ 韓国合併会社との連携強化

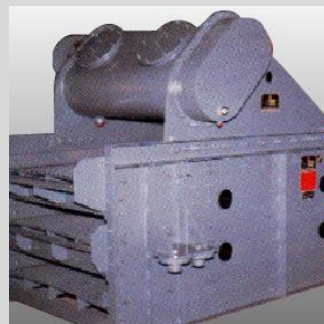
■ ユーザー拡大と高付加価値化

- ✓ 消臭剤の研究開発への注力

重点施策②



<掘進機>

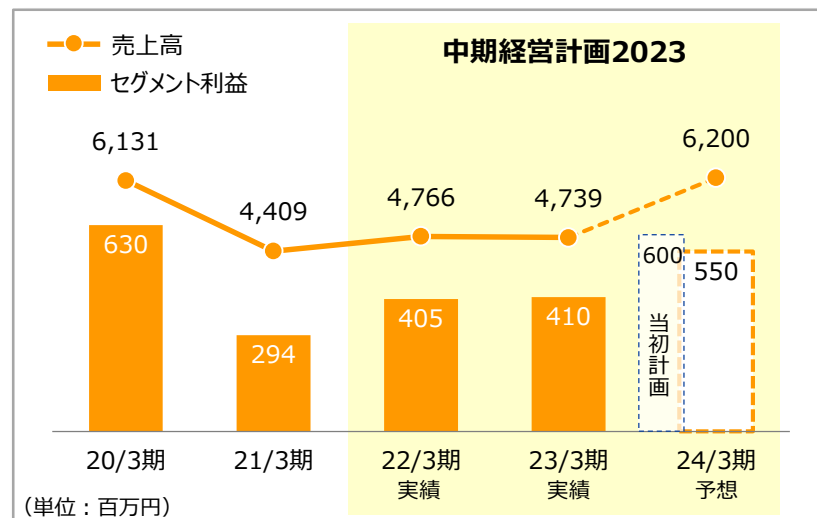


<選別機>



<粉碎機>

機械事業



■ 既存事業の強化・領域拡大

- ✓ リサイクル向けプラント設備案件の需要の取り込み
- ✓ 精密機械加工における半導体・有機EL分野からの受注拡大

■ グローバル市場への対応強化

- ✓ 海外販売網との関係強化による下水道向け掘進機の新規市場開拓（東南アジア）

■ 新規事業の探索、育成

- ✓ バイオマス熱利用装置の営業強化

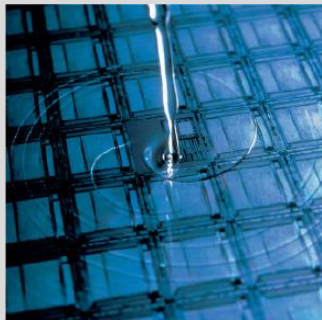
重点施策③



＜高純度無機素材＞

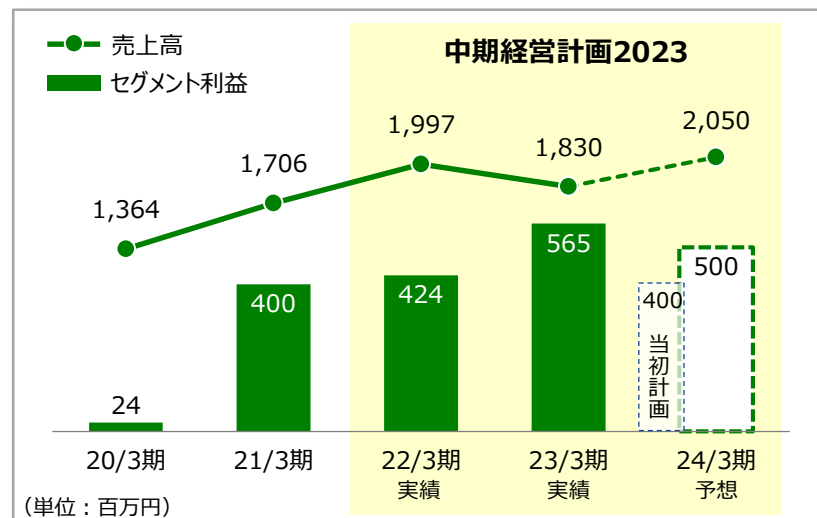


＜放射性ヨウ素吸着剤＞



＜塗布剤＞

電子材料事業



■ 既存事業の強化・領域拡大

- ✓ 高純度無機素材の市場拡大を踏まえた増産体制の整備
- ✓ 販売・生産の調整、工程改善による収益改善

■ グローバル市場への対応強化

- ✓ 高純度無機素材の海外新規需要開拓
- ✓ 放射性ヨウ素吸着剤（AgX）の海外への継続的販売の実現

■ 新規事業の探索、育成

- ✓ 放射性ヨウ素吸着剤などの研究開発による新規事業探索
- ✓ 塗布剤の用途別製品の拡充

セグメント別基本戦略

	既存事業の強化・領域拡大	グローバル市場への対応強化	新規事業の探索・育成
化成品事業	✓ 半導体向け高純度リン酸の安定操業および販売増 ✓ コンデンサー向け原料増産設備の安定操業と更なる省力化	✓ 台湾子会社 需要拡大への対応（増産投資の実施） ✓ 韓国合併会社との連携強化	✓ 消臭剤の研究開発への注力
機械事業	✓ 震災復興関連（中間貯蔵施設、除染関連事業）の更新需要の取り込み ✓ プラント設備案件の需要の取り込み	✓ 海外販売網との関係強化による下水道向け掘進機の新規市場開拓（東南アジア）	✓ バイオマス熱利用装置の新たな営業展開
電子材料事業	✓ 高純度無機素材の新規需要開拓 ✓ 販売・生産の調整、工程改善による収益改善	✓ 高純度無機素材の海外新規需要開拓 ✓ 放射性ヨウ素吸着剤（AgX）の海外への継続的販売の実現	✓ 放射性ヨウ素吸着剤などの研究開発による新規事業探索 ✓ 塗布剤の用途別製品の拡充

E S Gへの取り組み

E S Gへの取り組みによって、持続的かつ安定的な成長を目指す

【重要なE S G課題】

【当社グループの取り組み】

〈環境〉
E

リサイクルビジネス
(資源の循環利用・再生利用)

- ・プリント基板のエッチング液のリサイクル（化成品）
- ・リサイクルプラント設備の販売（機械）
- ・ガリウム、インジウムのリサイクル（電材）
- ・石油精製用触媒のリサイクル（その他）

水環境の保全ビジネス

- ・上下水道や工場排水の水処理凝集剤の販売（化成品）
- ・上下水道の構築に適した掘進機の販売（機械）
- ・大雨災害対策関連プラント設備の販売（機械）
- ・休廃止鉱山の管理（岩手県、宮崎県の休廃止鉱山での抗排水処理、たい積場管理等）

環境負荷の低減ビジネス

- ・バイオマス熱利用関連設備の販売（機械）
- ・震災関連のガレキ処理プラントや中間貯蔵プラント設備販売（機械）
- ・原発の重大事故発生時の放射性ヨウ素吸着剤の販売（電材）
- ・二次電池向け材料の研究開発（電材）

〈社会〉
S

品質管理
安全衛生
社会貢献

- ・化学品・製品の品質と安全性の確保
- ・保安防災・労働安全衛生の向上
- ・社会・地域との共生

〈ガバナンス〉
G

コーポレートガバナンス
コンプライアンス

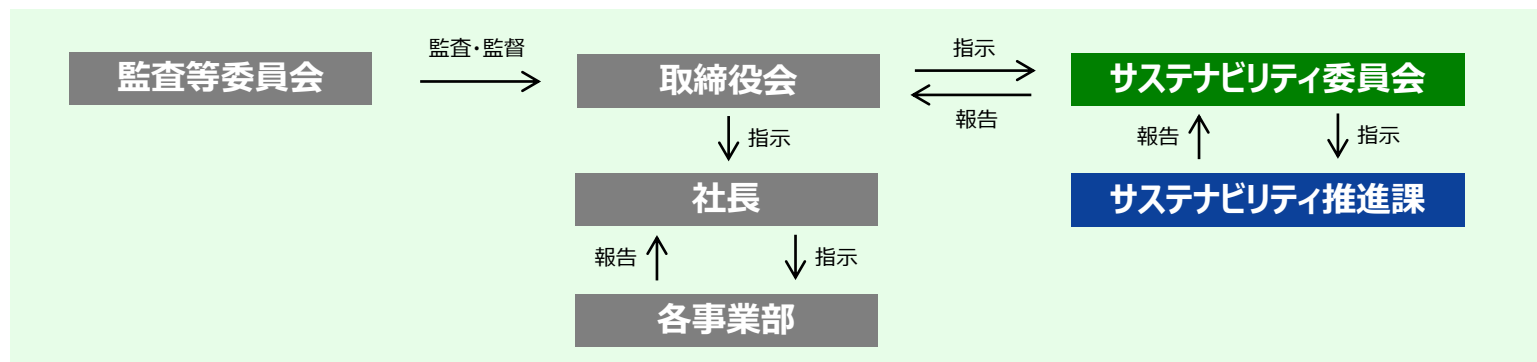
- ・コーポレートガバナンス体制の充実に取り組み
- ・コンプライアンスの徹底

Sustainability

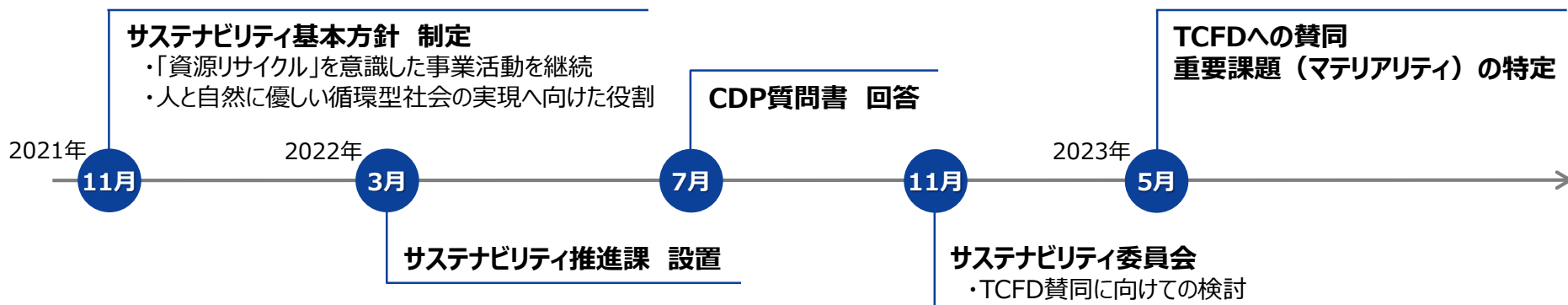
持続的かつ安定的な
成長の実現

サステナビリティ推進体制

- 気候変動をはじめとした地球規模の環境問題への配慮、人権の尊重、従業員を含む全てのステークホルダーへの公正・適正な事業活動など、社会や企業のサステナビリティを巡る課題解決を事業機会と捉え、これに向けた取り組みを推進するため「サステナビリティ委員会」を設置。
- サステナビリティ委員会は、代表取締役社長を委員長とし、取締役を委員として構成。
- 2022年3月には、組織を横断するESG活動に関する基本計画の策定や、その推進を担当するセクションとして、総務部に「サステナビリティ推進課」を新設。



<主な取り組み状況>



（注）CDP：英国で設立された環境分野に取り組むNGO（非政府組織）

TCFD：気候関連財務情報開示タスクフォース

重要課題（マテリアリティ）

- 持続可能な社会の実現と持続的な企業の成長にむけて、当社の経営や社会にとっての重要度の観点から取り組むべき優先課題の候補を選定し、重要性や影響度より6つのマテリアリティを特定

	【重要課題（マテリアリティ）】	【取り組み】
Environment 環境	気候変動への対応	温室効果ガスの削減 森林の保全
	循環型社会の構築	資源の有効活用 環境にやさしい製品の拡充
Social 社会	人権の尊重	ダイバーシティ 働きやすい職場（ワークライフバランス） 労働安全衛生
	人的資本への投資	人材育成 社内環境整備
Governance ガバナンス	コンプライアンスの徹底	公正な取引（お取引様との共存共栄を目指す） コンプライアンス
	リスクマネジメントの推進	BCP 情報セキュリティ

トピックス① 設備投資

台湾子会社における生産能力増強投資を実施

<2022年3月期 完工、2023年3月期 生産開始済み>

台湾連結子会社

会社名 理盛精密科技股份有限公司

(Rasa Technology Taiwan Ltd.)

所在地 台中市梧棲區緯二路1號

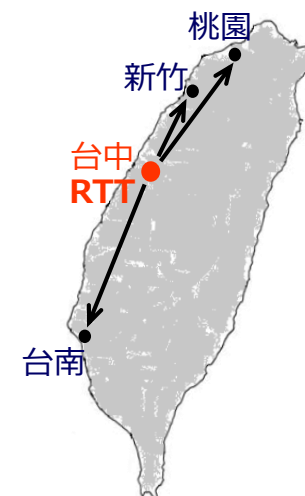
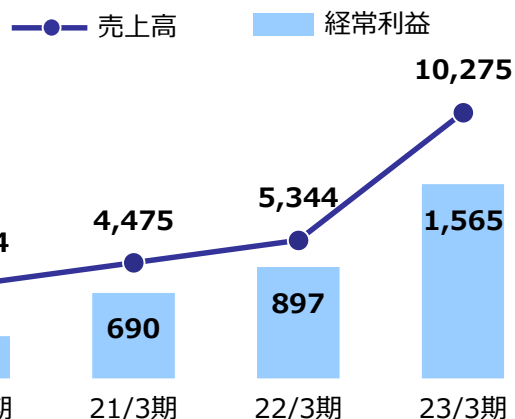
設立 2003年12月17日

投資目的 半導体向け高純度リン酸増産

投資額 20億円

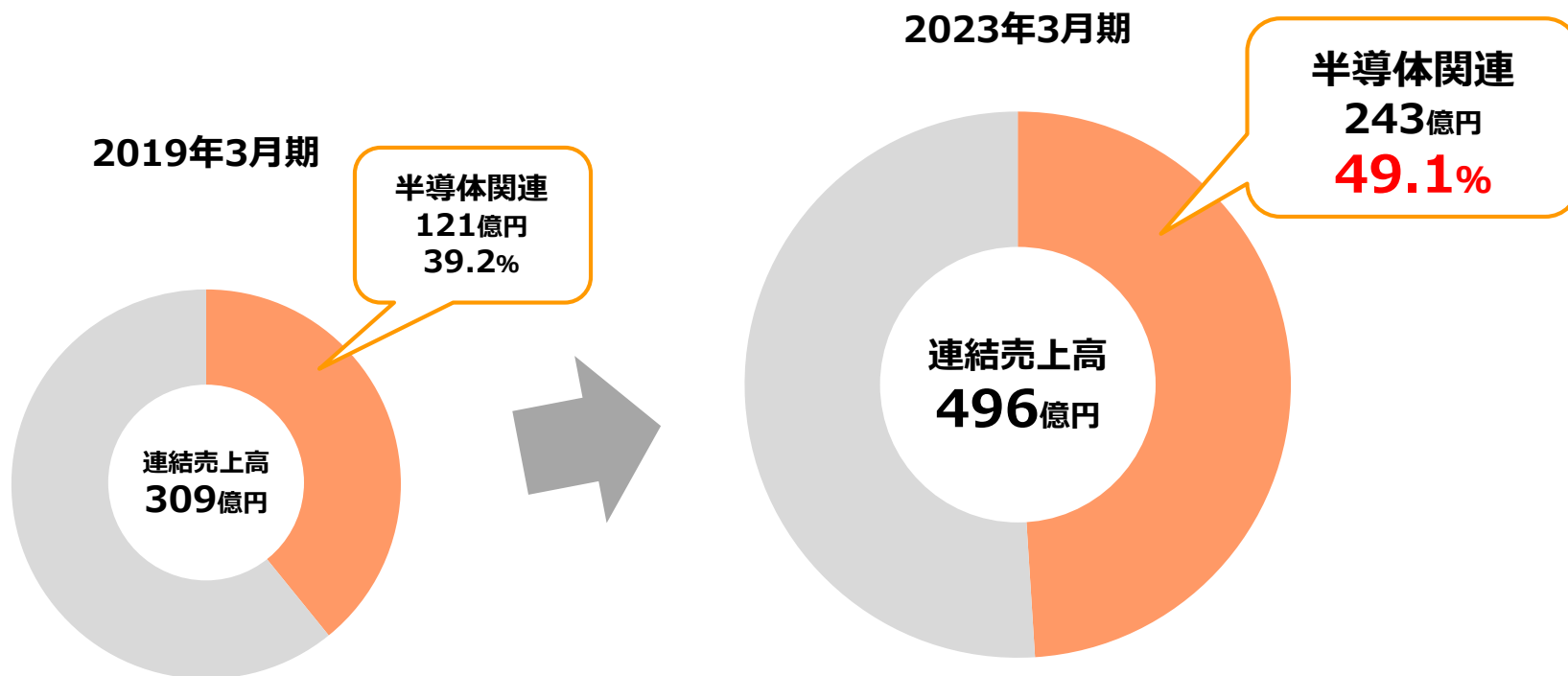
投資効果 台湾の生産能力を約5割増強

(単位：百万円)



トピックス② 伸長する、半導体向け・電子部品向け

半導体関連^(注) 向け売上比率は49.1%まで拡大



(注) 半導体関連売上高は、半導体・電子部品関連向けの販売を集計

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだもののご理解下さい。

－IRに関する問い合わせ窓口－
ラサ工業株式会社 経理部
03-3258-1835